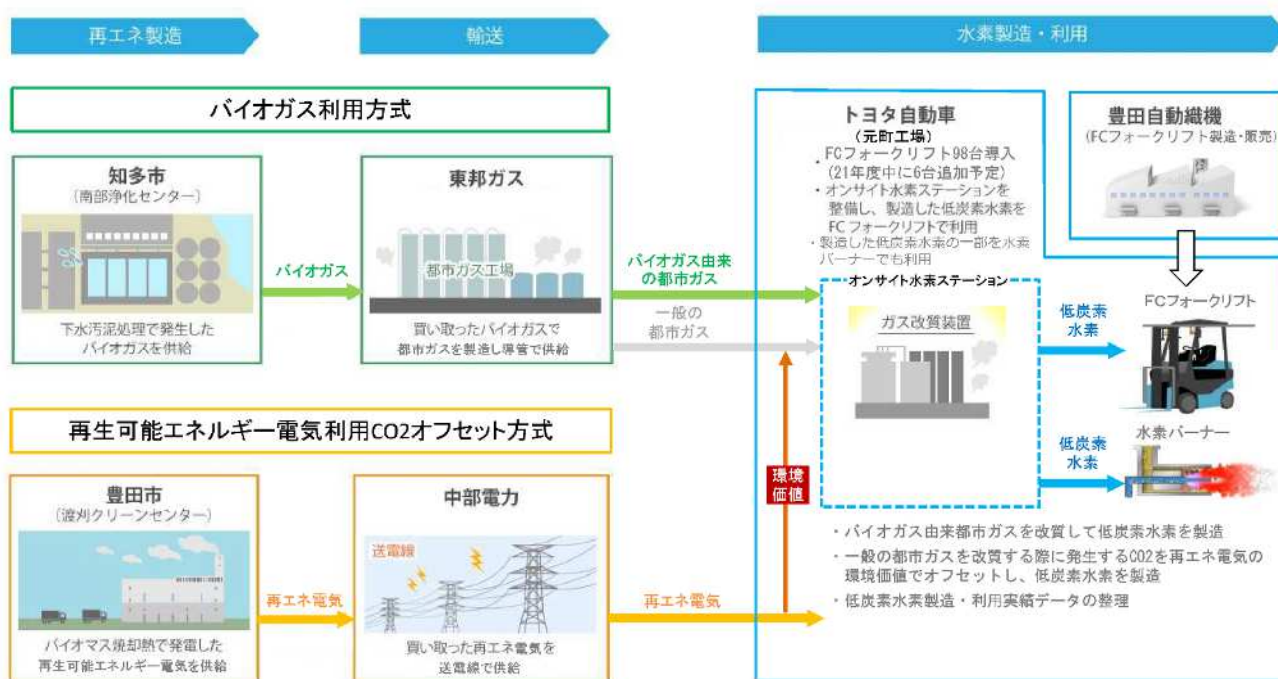


(参考3) 認定プロジェクトの概要

1 知多市・豊田市再エネ利用低炭素水素プロジェクト（トヨタ自動車株式会社）

- ・ 知多市南部浄化センターで下水汚泥処理により発生したバイオガスを原料として東邦ガス株式会社が都市ガスを製造し、既存の都市ガス導管網を通じてトヨタ自動車株式会社の元町工場へ輸送する。
- ・ このバイオガス由来の都市ガスを原料として、元町工場に設置されたガス改質装置で低炭素水素を製造、圧縮、貯蔵し、工場内で使用する株式会社豊田自動織機製の燃料電池フォークリフトや水素バーナーで利用する。
- ・ また、豊田市渡刈クリーンセンターの廃棄物焼却により発生した熱で発電した再エネ電力を中部電力ミライズ株式会社がトヨタ自動車株式会社に供給することで、バイオガス不足時に使用した都市ガス使用分のCO₂排出量をオフセットする。



2 セントレア貨物地区水素充填所プロジェクト（株式会社鈴木商館）

- ・ 株式会社鈴木商館が中部国際空港貨物地区に設置した水素製造設備において、太陽光発電電力等による水電解で低炭素水素を製造し、同地区内で稼働する燃料電池フォークリフトの燃料として利用する。

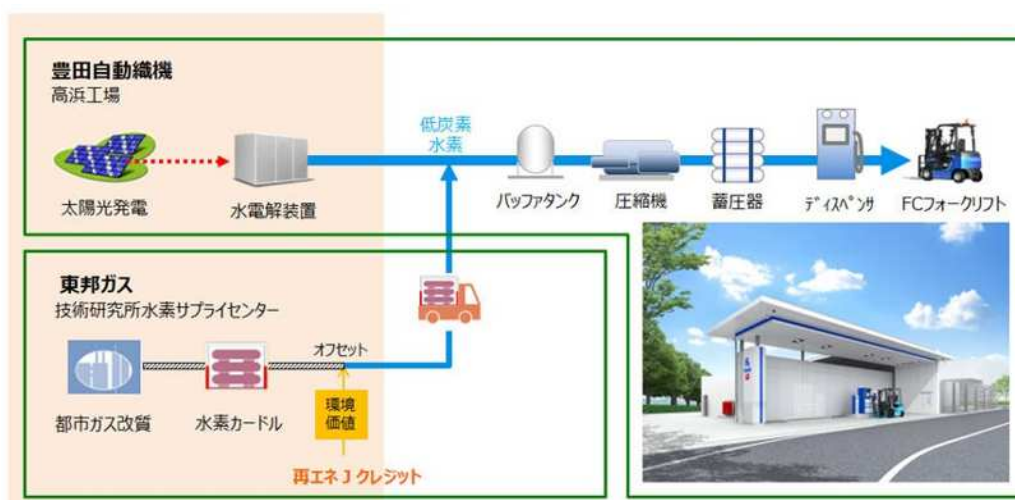


3 豊田自動織機高浜工場再エネ利用低炭素水素プロジェクト

(株式会社豊田自動織機、東邦ガス株式会社)

- 株式会社豊田自動織機及び東邦ガス株式会社による共同プロジェクト。
- 株式会社豊田自動織機が同社高浜工場に設置した水素製造設備において、太陽光発電電力による水電解で低炭素水素を製造し、高浜工場内で稼働する燃料電池フォークリフトの燃料として利用する。
- 太陽光発電電力で製造した水素で賄えない場合には、東邦ガス株式会社が同社技術研究所水素サプライセンター（東海市）で都市ガスから製造する水素（※）を、J-クレジットでCO₂オフセットし供給する。

※2024年7月より、同社知多LNG基地（知多市）で天然ガスから製造する水素に切り替え。



4 元町工場太陽光水電解水素ステーションプロジェクト（トヨタ自動車株式会社）

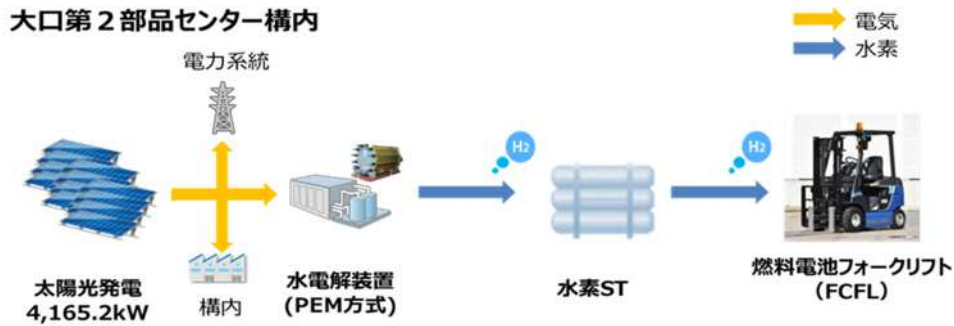
- トヨタ自動車株式会社が同社元町工場に設置した水素製造設備において、太陽光発電電力による水電解で低炭素水素を製造し、元町工場内で稼働する燃料電池フォークリフトの燃料として利用する。



5 大口第2部品センター太陽光水電解水素ステーションプロジェクト

(トヨタ自動車株式会社)

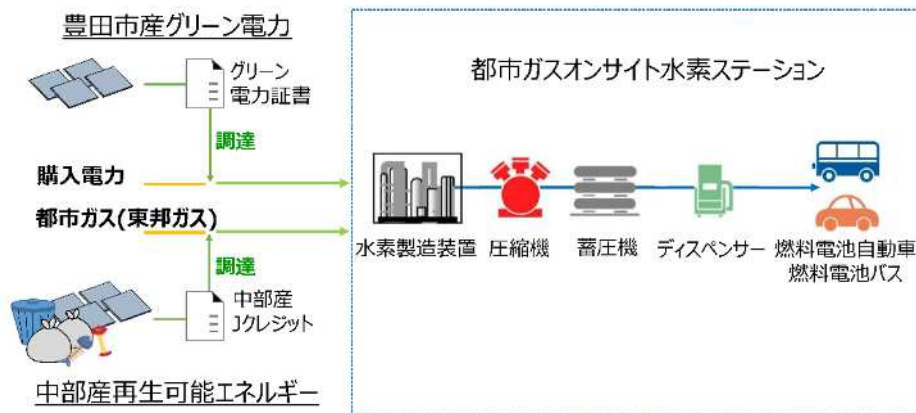
- トヨタ自動車株式会社が同社大口第2部品センターに設置した水素製造設備において、太陽光発電電力による水電解で低炭素水素を製造し、大口第2部品センター内で稼働する燃料電池フォークリフトの燃料として利用する。



6 東邦ガス水素ステーション豊田市産他再エネ価値利用水素供給プロジェクト

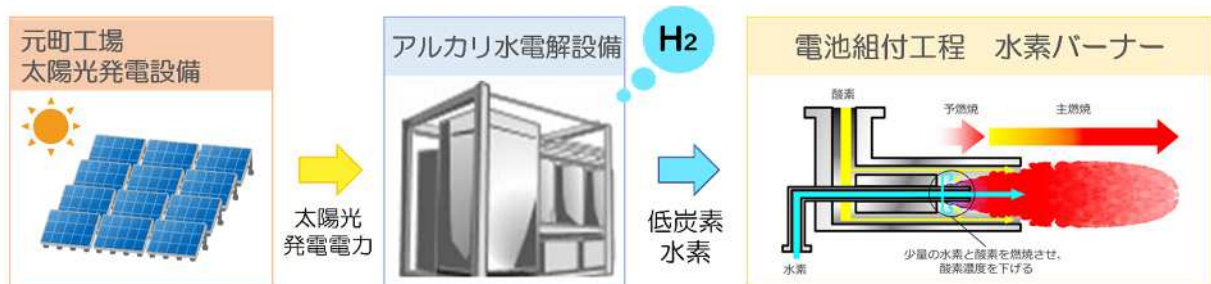
(東邦ガス株式会社)

- 豊田豊栄水素ステーションにおいて、都市ガスから製造する水素を供給する。
- 水素製造時に発生する二酸化炭素排出量を、J-クレジット及びグリーン電力証書を用いてオフセットする。



7 元町工場太陽光アルカリ水電解水素製造プロジェクト（トヨタ自動車株式会社）

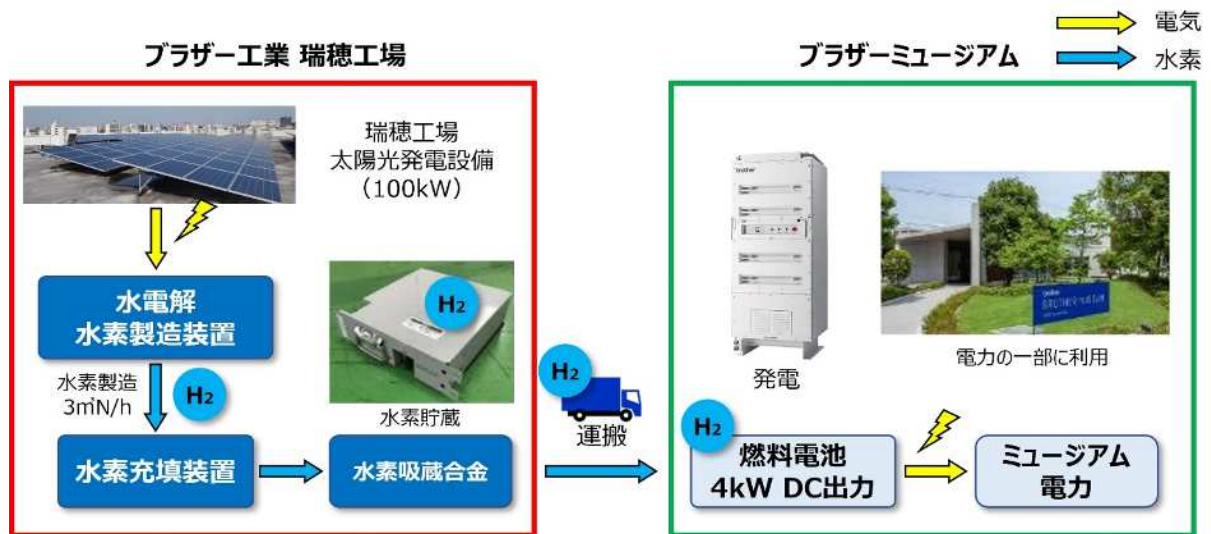
- トヨタ自動車株式会社が同社元町工場に設置した水素製造設備において、太陽光発電電力による水電解で低炭素水素を製造し、電気自動車（bZ4X）の車載電池の組付工程で使用する乾燥用水素バーナーの燃料として利用する。



8 ブラザー工業瑞穂工場水素吸蔵合金グリーン水素充填・配送プロジェクト

（ブラザー工業株式会社）

- ブラザー工業株式会社が同社瑞穂工場に設置した水素製造設備において、太陽光発電電力による水電解で低炭素水素を製造し、「水素吸蔵合金」に貯蔵する。
- これを近隣のブラザーミュージアムに運搬し、燃料電池へ供給して発電することで、ブラザーミュージアムの施設電力の一部として利用する。



9 明治電機工業豊田支店 再エネ由来水素利活用プロジェクト

(明治電機工業株式会社)

- 明治電機工業株式会社の豊田支店において、太陽光発電の余剰電力による水電解で低炭素水素を製造し、水素吸蔵合金等に貯蔵。
- これを燃料電池 (FC) へ供給して発電することで、施設電力のピークカットや、災害時の非常用電源として活用する。

